

◆单元名「自分流『枕草子』を書こう」

「枕草子」で聞いたことがあるよ。たしか、小学校で春はあけほのようよう白くなりゆく上ぎれ少し明かりて紫立ちたる雲の白くなびきたる」というところを読んだんだ。

うんうん、あんまり意味は分からなかつたけれど、音読したよね。今回、勉強することになつて、「枕草子」つて

課題①「枕草子」について、確認・チェックしよう。

宮仕え…宮中(宮殿の中)にお仕えする」と。

「枕草子」は平安時代に清少納言によって書かれた作品である。

作者が宮仕えをしていたときに見聞きした、りや季節の感想 人生觀などを扱に触れて書き詠したもので 作品の題名は「道臣」

つまり、最初の段である。第一段は作者の四季

がえる名文と言われている。

中宮定子に仕えた。

この単元名に迫るためには、どうやって学習していくらしいかな。

5

ているんだから、まずは、僕たち自身が考えるそれぞれ季節のイメージをあげてみようか。

そうね、わたしたちたら春といえは「たんぽぽ」夏は「ひまわり」秋は「コスモス」冬は「シケアメン」で、

課題②あなたの思う四季のイメージを挙げておこう。

春は…

秋は

冬は

夏は・・

冬は…



まずは自分の見方や感じ方を確かめたんだけれど、続いてどうやって学習していくたらいいかな。



やっぱり清少納言がどんな見方・考え方をしていたのか、枕草子の第一段はどんなことが書かれていたのかを

読み取ることが大事だよ。

あのとき学習したのは

❖ 仮名遣いに注意しながらすらすら読めるようになると。 ↗ **課題③④**

❖ 言葉の意味(現代語訳)が分かり、さらに、作者が「いたい」とは何かが分かる」と。 ↗ **課題⑤⑥**

❖ 文章にどんな特徴があるかが分かる」と。

❖ そうだ、仮名遣いが現代とは異なるところがあつたり、今は使わない言葉があつたりして読みにくかつたよ。

すらすら読むには、声に出して練習が必要かも。

現代語訳が書いてあるけれど、「それでどういって?」って何がいいたいのか分からないところもあつたし。

三つめの、❖ 「文章にどんな特徴があるか」ってどんなふうだったつけ?

「竹取物語」でいって「けり」「ける」「たり」って言葉が多かつたわ。

一文が長すぎるなあ、と感じるものがあつたよ。

が

他に、省略も多かつたな。例えば、「今は昔、竹取の翁といふものありけり。」みたいに。

「枕草子」も「竹取物語」と同じ時代に書かれているんだから、似たような傾向があるのかしら。
ほかにも、作者が

❖ 「どんな言葉を使っているのか。」

❖ 「どんな情報をどのように書いているか。」

といつたことに着目して読んでいきたいな。

課題③次の言葉を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書こう。

() () () () () () () ()

① やうやう ② 山ぎは ③ 間もなほ ④ 飛びぢがひたる ⑤ をかし

() () () () () () ()

⑥ いと近う ちか ⑦ 飛びいそぐさへ ⑧ あはれなり ⑨ 言ふべきにあらず

⑩ 火桶 ひをけ

課題④仮名遣いに注意しながらすらすら本文を音読しよう。

課題⑤次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり辞書を使つたりして確かめよう。

語句	意味
① あけぼの	
② やうやう	
③ あかりて	
④ たなびきたる	
⑤ さらなり	
⑥ なほ	
⑦ 飛びちがひたる	
⑧ をかし	
⑨ いと	
⑩ あはれ	
⑪ まいて	
⑫ つらねたる	
⑬ 言ふべきにあらず	
⑭ つとめて	
⑮ さらうでも	
⑯ つきづきし	
⑰ ぬるくゆるびもでいけ	
⑱ わろし	

課題⑥現代語訳を参考にして、次の「　」に補うことのできる一字の平仮名を書きよう。

① 山ぎは「　」、すゝあかりて

② 雨など「　」降るもをかし

③ 山の端〔　〕いと近う

④ 日〔　〕入り果てて

⑤ 火など〔　〕いそぎおこして

⑥ 炭〔　〕もて渡るも





自己評価をしましょう

この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの・皆さんの理解度や疑問を知るためのもので、先生の評価とは関係ありません。

課題①「枕草子」の作者などの基礎知識について、確認することができたか。

十分に ますます 自信がないが できなかつた。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

課題③④現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書き、また、本文を声に出してすらすらと読むことができたか。

十分に ますます 自信がないが できなかつた。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

課題⑤次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり辞書を使つたりして理解したか。

十分に ますます 自信がないが できなかつた。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

課題⑥現代語訳を参考にして、〔 〕に補うことのできる一字の平仮名を書けたか。

十分に ますます 自信がないが できなかつた。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

学習を終えて、分からぬこと、疑問に思うことがあれば書き出しておきましょう。